

岩手県水産技術センター

被災した沿岸地域の経済復興には水産業の復興・発展が重要であることから、第3期復興実施計画の取組と連動した水産復興と、長期計画である「農林水産技術立県いわて技術開発基本方針」に基づき、漁場環境から生産、加工、流通、消費に至るまでの一貫した調査研究と普及指導に取り組み、漁業及び水産物流通加工業の復興を支援していきます。

●組織と主な業務

所 長	副 所 長	総務部	センターの組織管理及び予算経理等を所掌し、試験研究業務等の円滑な運営を図っています。
		水産業普及指導員	水産業改良普及事業の推進、開発した技術の漁業者への普及等の指導にあたります。
		企画指導部	各部間の連絡調整のほか、漁業経営及び水産物流通に関する研究に取り組んでいます。
	副 所 長	漁業資源部	水産資源管理に関する研究や秋サケ増殖技術の開発に努めているほか、人工衛星画像等の提供を行っています。
		利用加工部	水産加工技術の開発及び水産資源の有効活用に向けた技術開発や加工業者からの相談への対応などを行っています。
		増養殖部	つくり育てる漁業の推進に向け、養殖技術や種苗放流及び漁場の造成・管理等の増殖技術の開発に取り組んでいます。
		漁場保全部	漁場の有効利用及び貝類生産の円滑化を図るため、漁場環境の評価や貝毒プランクトンの増殖予測の解明などを行っています。



●沿革

- 明治43年 宮古町（現：宮古市）にあった県立水産学校校舎に併設して水産試験場を創設。
- 大正 9年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市只越町）に移転新築。
- 昭和 8年 3月3日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失。
- 14年 水産試験場庁舎を釜石市新浜町に移転新築。
- 44年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築。
- 54年 大船渡市末崎町に栽培漁業センターを開設。
- 62年 九戸郡種市町（現：洋野町）に北部栽培漁業センターを開設、栽培漁業センターは南部栽培漁業センターに改称。
- 平成 6年 現庁舎完成。水産試験場と南部及び北部栽培漁業センターの研究部門を統合し、水産技術センターと名称を変更して開所。
- 22年 水産試験場開設から100周年を迎える。
- 23年 3月11日の東日本大震災でセンター施設1階部分を被災。
- 25年 震災復旧工事を進め、3月から1階での研究業務を再開。
- 26年 海水取水施設を含め復旧工事が完了。
- 26年 サケ大規模実証試験施設を新築。

●漁業指導調査船



岩手丸（進水：平成21年12月16日）
総トン数：154トン
主要寸法：長さ 34.40m
幅 7.00m
深さ 3.00m
速力：最大13.8ノット
航海11.5ノット
最大搭載人員：17名



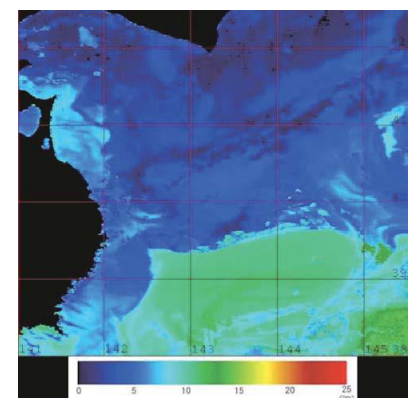
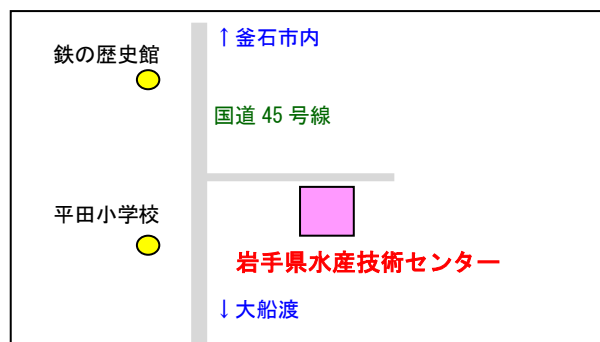
北上丸（進水：平成26年2月22日）
総トン数：38トン
主要寸法：長さ 20.50m
幅 5.28m
深さ 2.52m
速力：最大13.4ノット
航海12.0ノット
最大搭載人員：12名

●岩手県水産技術センターに関するお問い合わせ

所在地 〒026-0001 岩手県釜石市大字平田 3-75-3
電話番号 **総務部** 0193-26-7911 **利用加工部** 0193-26-7916
企画指導部 0193-26-7914 **増養殖部** 0193-26-7917
漁業資源部 0193-26-7915 **漁場保全部** 0193-26-7919
FAX **総務事務室** 0193-26-7910 **研究事務室** 0193-26-7920
代表メール CE0012@pref.iwate.jp
ホームページ **岩手県水産技術センターWeb**（研究成果情報、漁海況情報等）<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>
いわて大漁ナビ（水温、市況、衛星画像等）<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>

◎農林水産省の支援を受けて運営する開放型研究室を開設しました。

アクセス JR釜石駅より車で約10分（国道45号線で大船渡方面へ南下）



「いわて大漁ナビ」の衛星画像



開放型研究室（オープンラボ）

岩手県水産技術センター 平成 29 年度の業務

【キャッチフレーズ】 復興・創造！ 未来につなぐ水産技術

私たちは、「岩手県東日本大震災津波復興計画・第3期復興実施計画」を踏まえ、本県水産業の復興・発展と復興の先も見据えた地域振興に向けて、生産から流通・加工、環境、経営などの調査研究を通じて、漁業者・加工業者等を支援していきます。

今年度の主要課題

総務部	◎センター施設の適切な維持保全
水産業普及指導員	◎漁村復興を担う地域のリーダーの活動支援 ・漁業担い手の能力向上指導と新規着業者の定着支援 ・漁業士を中心にした新規参入者や漁業後継者を対象とした現場指導の支援
企画指導部	◎水産業の経営高度化・安定化のための研究開発 ・ワカメ養殖の省力化・効率化システムの開発
漁業資源部	◎生産性・市場性の高い増養殖技術の開発 ・秋サケ増殖・管理技術の開発・改善 ・秋サケ回帰予測技術の向上 ◎水産資源の持続的利用のための技術開発 ・海況変動を考慮した漁況予測技術の開発 ・地域性漁業資源の総合的な資源管理に関する研究 ・回遊性漁業資源の利用技術の開発
利用加工部	◎いわてブランドの確立を支援する水産加工技術の開発 ・イクラやウニの保存に関する通電加熱技術の実用化 ・ワカメ・コンブ塩蔵製品の品質安定化の確保
増養殖部	◎震災による磯根資源への影響を考慮したアワビ・ウニ資源の持続的利用に関する研究 ・磯根資源のモニタリング調査の実施と資源管理技術開発 ・アワビ種苗生産技術の効率化・省コスト化に関する研究 ◎介藻類養殖の安定生産に関する研究 ・マガキのシングルシード種苗の生産技術導入の検討 ・ワカメの人工種苗生産技術改良による生産性向上に関する研究
漁場保全部	◎全国トップクラスの安全・安心を確保する技術の開発 ・毒化した二枚貝の麻痺性貝毒減衰時期予測及びシストの分布と二枚貝養殖漁場の環境評価 ・カキのノロウイルス汚染による食中毒事故の発生リスク低減に関する研究 ◎豊かな漁場環境の維持・保全のための技術開発 ・ワカメ芽出し期の栄養塩供給開始予測手法の開発 ・適正な漁場利用を図るための養殖漁場の環境評価



ワカメの定置船利用刈取試験



秋サケ回帰親魚の現地調査



イクラの通電加熱試験



磯根資源の潜水調査



指導調査船の海洋観測



養殖漁場の底質調査